

## 2023 年春季 参加報告書

**参加プログラム：高麗大学**

**参加時の学年：3年、学部：経済、学科：経済**

実践的な会話力向上のため留学を決意した。語学留学は高校時代からの夢だったが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大学2年次にオンライン留学という形で実現させ一度は諦めた。現在は就職活動が始まっており、今回ではなく次のプログラムに参加するかどうか悩んだ。「自分の将来を決める前に行ってみるべきではないか」という自分の考えは間違っていなかったと思える経験ができた。平日も休日も全力で学び全力で楽しんだ。1日も無駄にしないで充実した時間を送れたのは事前に予定を立てていたからだと考える。行きたい場所をピックアップし、最寄り駅からの行き方を調べたり、近くのご飯屋さんまで調べたりした。一緒に計画を立てて行動をともにしてくれた友人には本当に感謝している。

留学生活で特に印象に残ったことは「人」である。現地の人の優しさに触れる機会が非常に多かったと感じている。留学初日に駅の改札で何もわからず困っていた私を助けてくださった駅員さんと清掃の方。高速バスのターミナルで迷子になっていた私たちに声をかけ、案内してくださったバスの運転手さん。撮影を快く承諾してくださったロケ地の住人の方。このような経験から私が学んだことは何か困ったこと、わからないことがあれば自分ひとりだけで解決しようとせず、現地の方々に迷わず助けを求めることが良いということだ。私の性格上、知らない人に声をかけるという行動は勇気がいることだ。今回のように留学の場合は言語の壁が加わり、さらに緊張してしまう。しかし、ここで勇気を出した結果トラブル解決だけでなく、私の留学の目的「実践的な会話力の向上」にもつながったと考えている。

私が留学生活を通じて成長できたと感じている点は切り替え力だ。日本での生活よりも規則正しく過ごしているうちに自然と「勉強」と「遊び」のメリハリがついてきた。午前中は学校で一生懸命勉強し、午後は友人と目的地で楽しく遊んだ。短期集中過程ではこの切り替え力は重要である。オンとオフの切り替えができないと「勉強」も「遊び」どちらも中途半端で終わってしまうからだ。そして体調を整えるという面でも大切だ。夜はなるべく早く寝て朝は早く起きる。この繰り返しのおかげで最後まで体調を崩すことなく無事に終えられた。

私の今後の目標はハングル検定2級合格である。自由科目で韓国に関する授業を履修したり、MCVで韓国語を話したり大学の施設も活用しながら韓国語の学習を継続していきたい。学外の取り組みとしては日韓交流会への参加や今回のトウミプログラムで出会った高麗大学の学生さんとの会話などで韓国語のスキルアップを目指す。就職活動が終了したら旅行で韓国に行けるよう準備しておきたい。将来、直接ではなく間接的にでも韓国語が活かせる仕事に就きたいと改めて感じた。また、ドラマや音楽といったエンタメに加えてグルメやファッションなど幅広くアンテナを張り、日本の魅力を発信できるよう自分の国も知っておく必要があるとわかった。日本と韓国の架け橋になるため日々努力していこうと思う。